

平成 2 2 年度
第 1 回高松市庵治地区地域審議会
会議録

と き：平成 2 2 年 6 月 2 日（水）

ところ：高松市庵治支所 1 0 5 会議室

平成22年度
第1回高松市庵治地区地域審議会
会議録

1 日 時

平成22年6月2日(水) 午前10時00分開会・午前10時54分閉会

2 場 所

高松市庵治支所 105会議室

3 出席委員 11人

副会長	高砂 清一	委 員	藤野 譲二
委 員	上村 峰子	委 員	増田 富子
委 員	打越 謙司	委 員	村井 高廣
委 員	川 曉美	委 員	村井 雅子
委 員	高砂 正元	委 員	森岡 美佐子
委 員	平田 フサ子		

4 欠席委員 3人

会 長	上北 東太郎	委 員	浦 芳樹
委 員	嶋野 勝路		

5 行政関係者

市民政策部長	松木 健吉	地域政策課長補佐	佐々木和也地
市民政策部次長	企画課長事務取扱 宮武 寛	地域政策課係長	佐藤 潔
地域政策課長	藤本 行治	地域政策課主査	吉川亜希子
		企画課長補佐	多田 安寛

保育課長	田中 克幸	道路課長補佐	里石 明敏
保育課長補佐	加藤 浩三	公園緑地課長	川東 敬幸
産業経済部次長	商工労政課長事務取扱 佐々木秀樹	公園緑地課長補佐	高橋 政実
商工労政課長補佐	西川 宏行	学校教育課長	福田 安伸
観光振興課長補佐	中西 省吾	学校教育課長補佐	宮治 孝哲
観光振興課係長	萩森 裕		

6 事務局（庵治支所）

支所長	黒川 久夫	管理係長	山崎 一公
支所長補佐	村井 利行	主任主事	大石 恭寿

7 オブザーバー

高松市議会議員	新上 隆司		
---------	-------	--	--

8 傍聴者 1人

会 議 次 第

1 開会

2 会議録署名委員の指名

3 議事

(1) 報告事項

ア 建設計画に係る事業の平成22年度予算化状況について

イ 建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応内容等について

(2) 協議事項

ア 建設計画に係る平成23年度および24年度の実施事業に関する意見の取りまとめについて

4 その他

5 閉会

午前10時00分 開会

会議次第1 開会

○事務局（村井支所長補佐） お待たせをいたしました。予定の時刻となりましたので、ただいまから平成22年度第1回高松市庵治地区地域審議会を開会いたします。

委員皆様方には、何かと御多忙中のところ御出席をいただき、誠にありがとうございます。

なお、本日は、上北東太郎会長、浦芳樹委員、嶋野勝路委員が所用のため、欠席されております。

また、オブザーバーとして、新上高松市議会議員に御出席をいただいておりますことを、御報告申しあげておきます。

開会に当たりまして、上北会長から御挨拶をいただきたいところでございますが、本日は、都合により上北会長が欠席ということでございますので、高砂副会長から御挨拶申しあげます。よろしくお願ひします。

○高砂副会長 おはようございます。上北会長が欠席ということでございますので、私の方から一言御挨拶を申しあげます。

本日は、皆様方には何かとお忙しい中、平成22年度第1回高松市庵治地区地域審議会に御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

今回、第3期目の地域審議会委員改選後、最初の定例会となります。

本日の会議内容といたしまして、建設計画に係る事業の平成22年度予算化状況や平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応内容等について、また、建設計画に係る平成23年度および24年度の実施事業に関する意見の取りまとめについて、それぞれ担当部署から御説明をいただくことになっております。

各委員の皆様方には、忌憚のない建設的な御意見を願ひいたしまして、誠に簡単ではございますが、開会にあたりましての御挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございます。

○事務局（村井支所長補佐） ありがとうございます。

それでは、以降の進行につきましては、本地域審議会に関する協議第7条第3項および第6条第3項の規定に基づきまして、高砂副会長に会議の議長をお願いいたします。

○議長（高砂副会長） それでは、本地域審議会の規定によりまして、私の方で本日の議長を務めさせていただきます。円滑な議事の進行に御協力のほど、よろしくお願いを申し上げます。

本日の出席委員は、本地域審議会の規定に定める半数以上の11名でございますので、本日の会議が成立しておりますことをまず御報告申し上げます。

会議次第2 会議録署名委員の指名

○議長（高砂副会長） それでは会議次第2の、「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。

会議録の署名委員は、本地域審議会の名簿順をお願いをいたしております。本日の会議録署名委員には、川曉美委員、高砂正元委員の二人をお願いいたします。

よろしくお願いをいたします。

会議次第3 議事

(1) 報告事項

ア 建設計画に係る事業の平成22年度予算化状況について

イ 建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応内容等について

○議長（高砂副会長） 続いて、会議次第3の議事に入らせていただきます。

まず、(1)報告事項 ア「建設計画に係る事業の平成22年度予算化状況について」、イ「建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応内容等について」、以上、2つの議題につきましては、相互に関連がございますので、続けて説明をお願いいたします。

○議長（高砂副会長） 担当課。地域政策課長。

○藤本地域政策課長 おはようございます。地域政策課の藤本でございます。よろしくお願いをいたします。座って説明をさせていただきます。

それでは、建設計画に係る事業の平成22年度予算化状況につきまして、お配りしております資料を基に、御説明をさせていただきます。

お手元に、A3サイズの大きい横書きの表が2種類あると存じますが、その内の右上に資料1と記載のある「建設計画に係る事業の平成22年度予算化状況」をお願いいたします。

この資料でございますが、一番左側の「まちづくりの基本目標」といたしまして、①の「連帯のまちづくり」から、次のページの⑤の「参加のまちづくり」までの5つの基本目標ごとに、「施策の方向」、「施策項目」、「事業名」、「22年度事業計画の概要」を記載し、「22年度の当初予算額」と「21年度の当初予算額」を対比させ、その「比較増減額」を記載しております。

時間の関係もございますので、逐一の説明は省略させていただきますが、主な事業の22年度当初予算額を申しあげますと、まちづくりの基本目標の①連帯のまちづくりでは、事業名「留守家庭児童会の実施」といたしまして、573万9千円でございます。

②の循環のまちづくりでは、「水道管網の整備」といたしまして、丸山地区、高尻地区等を予定とする4,581万3千円、「下水道汚水施設の整備」といたしまして、松尾地区および江の浜地区を予定とする汚水管渠工事等の1億600万円、「庵治浄化センター運営管理」といたしまして、2,480万9千円でございます。

③連携のまちづくりでは、「庵治漁港高潮等関連整備事業」といたしまして、才田地区等の防潮壁等整備の1,091万1千円、「消防屯所の整備」といたしまして、庵治分団第2部、鎌野屯所の用地購入の734万3千円、「学校施設の耐震化」といたしまして、庵治第二小学校および庵治中学校の耐震補強工事の6,968万7千円でございます。

④交流のまちづくりでは、「純愛の聖地庵治・観光交流館の施設整備および運営」といたしまして、694万8千円、「ふれあい祭り庵治の開催」といたしまして、900万円、「市道の整備」といたしまして、竹居線ほか2路線の道路改良工事等の2,570万円でございます。

なお、④の「交流のまちづくり」のうち「中小企業指導団体等の助成」につきましては、「平成22年度当初予算額（ア）」の欄と「平成21年度当初予算額（イ）」の欄のいずれも数値を記載しておりません。これは、「平成22年度事業計画の概要」の欄に記載しておりますように、この助成が、牟礼町および庵治町の各商工会が合併した高松市牟礼庵治商工会への助成であり、地区ごとに予算を区分していないことによるものでございます。

以上、①連携のまちづくりから⑤参加のまちづくりまでの予算額を合わせまして、総額で、3億2,597万2千円を予算措置しているものでございます。以上で、「建設計画に係る事業の平成22年度予算化状況」の説明を終わります。

引き続きまして、報告事項イの「建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応内容等について」、御説明をさせていただきます。

お手元の、A3サイズの横書きの表のうち、資料2の「建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応調書」をお願いいたします。

この対応調書につきましては、昨年7月24日に、「建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見の取りまとめ調書」を提出いただき、その後、昨年11月26日に開催されました平成21年度第2回地域審議会におきまして、その対応策について御説明させていただいております。その後の対応につきまして、予算各所管課に確認いたしましたところ、基本的には前回までの対応と変更点がないとのことでした。

誠に簡単ではございますが、以上で「建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応内容等について」の説明を終わります。

よろしくをお願いいたします。

○議長（高砂副会長） ありがとうございます。

ただいま説明のありました、報告事項の2つの議題につきまして、御質問・御意見をいただきたいと思います。先般の自主検討会におきまして、委員の方々から御意見もいただいておりますので、まず、その部分につきましての御発言をお願いいたします。どなたからでもどうぞ。

○議長（高砂副会長） 打越委員。

○打越委員 打越です。よろしくをお願いいたします。

平成22年度予算化状況について、主な事業は、今の説明で大体わかりましたが、説明のなかったものについて、何点か御質問いたします。わかる範囲内でお答えいただけたらと思います。よろしくをお願いいたします。

まず最初に、河港課の河川の改良で、100万円の増額がありますが、対象箇所は何箇所ですか。それと下水道管理課の合併処理浄化槽設置の助成で、472万2千円の減額でございますが、この理由について、そして、学校教育課の特別支援学級の設置で27万6千円の増額についての理由、河港課の港湾整備で600万の減額についての理由、最後に、

観光振興課の純愛の聖地庵治・観光交流館の施設整備および運営の予算で、686万1千円の減額の理由と22年度予算の694万8千円の中に観光振興課としての事業が入っているのかいないのか、以上の5点について、わかる範囲内で御説明をよろしく願いいたします。

○議長（高砂副会長） ただ今の質問に対して、答弁をお願いいたしますが、まず、お越しをいただいております担当課の方から答弁をいただきまして、その後、担当課がお越しをいただければ、わかる範囲で庵治支所の方で答弁をいただきたいと思います。

よろしく願いします。

まず、質問のございました観光振興課の件につきましては、お越しいただいておりますか。はい。じゃ、観光振興課お願いいたします。

○中西観光振興課長補佐 観光振興課長補佐の中西でございます。よろしく願いします。

ただ今打越委員さまより御質問がありました件でございますが、まず、第1点目、平成22年度予算が平成21年度当初予算に比較して、686万1千円減額になっている理由でございますが、この純愛の聖地庵治・観光交流館につきましては、昨年5月に開設いたしました。平成21年度予算の1,380万9千円の中には、開設の準備に係る経費といたしまして、工事請負費で370万円余、および開設準備委託、備品等の購入で同じく370万円が含まれておりまして、740万円余りが開設準備に係る経費でございます。平成22年度につきましては、それが不用となりますので、その分を減額しているものがございます。なお、指定管理委託につきましては、昨年の5月にオープンということで、11箇月分でありましたことから、今年度につきましては、12箇月分の53万7千円の増となっております。指定管理につきましては、平成22年度526万3千円を計上しております。以上が、予算の減額理由でございます。

続きまして、2点目の平成22年度予算に観光振興課において、実施される事業費が含まれているかという点でございますが、この点につきましては、従来より純愛の聖地事業といたしまして、北海道帯広市との交流事業を委託事業として行っておりますが、この事業費につきましては、平成22年度の694万8千円には、含めておりません。これと別途計上しておりますので御理解いただきたいと思っております。以上でございます。

○議長（高砂副会長） ありがとうございます。ほか、担当課の方は、お越しいただいてないですかね。はい。どうぞ。

○福田学校教育課長 学校教育課の福田です。よろしく願いいたします。

御質問がありました庵治中学校におきます特別支援学級の設置に関する予算計上のことですけれども、27万6千円の予算につきましては、知的障害学級に新たに入学する生徒のため新設いたしましたので、その学級の教材備品の予算として配置しております。

以上でございます。

○議長（高砂副会長） ただ今、担当課の方から御説明をいただいた以外の部分について、庵治支所の方でわかる範囲で答弁をお願いします。

○黒川支所長 庵治支所の黒川です。支所でわかる範囲内でお答えをいたしますので、よろしく願いをいたします。

まず、河港課の河川改良の件でございますが、22年度予算は、一応、大谷川を予定しております。21年度維持補修実績に合わせたの予算の計上で100万ほど増えております。

続きまして、下水道管理課の合併浄化槽の件でございますが、毎年、申請基数の減少がありまして、21年度予算の基数が20基でございましたが、申請基数が8基でございました。これ実績でございます。22年度予算基数は、21年度の基数を基にしまして11基の予算の計上になっております。

続きまして、河港課の港湾設備でございますが、これは、大島港の改良工事が21年度で終了いたしましたので、減額になっておるものでございます。以上でございます。

○議長（高砂副会長） 打越委員、ただ今の答弁、説明でよろしいでしょうか。

○打越委員 はい、よくわかりました。ありがとうございます。

○議長（高砂副会長） その他に、建設計画に係る事業の平成22年度予算化状況について、御質問のある方ございましたらどうぞ。

○議長（高砂副会長） 増田委員。

○増田委員 増田です。生涯学習・生涯スポーツの充実ということで、今回子どもマリンスポーツ交流事業が事業の見直しにより補助の廃止ということになっているのですが、これについてどういう経過だったのか具体的に説明いただけたらと思います。

○藤本地域政策課長 議長。

○議長（高砂副会長） はい、地域政策課長。

○藤本地域政策課長 本日、スポーツ振興課の方が来ておりませんので、後日、御答弁させていただくということで御了解いただきたいと思います。

○議長（高砂副会長） 増田委員、そういうことでよろしいですか。

○増田委員 はい。

○議長（高砂副会長） 他にはございませんか。

どうぞ、増田委員。

○増田委員 交流のまちづくりの、市道の整備ということで、道路改良工事があるんですけども、これについて、予算が2,570万ですか、あるのですけども、どの線の工事からするのかとか、具体的に整備計画があるのでしたら、報告というかお知らせいただきたいのですけども。

○議長（高砂副会長） 担当課。

○里石道路課長補佐 道路課の里石でございます。よろしくお願いたします。

増田委員さんからの御質問で、市道の整備計画でございますが、平成22年度におきましては、2,570万円ということでございまして、2路線が継続事業でございます。

1路線を新規路線で考えております。ひとつにつきましては、継続事業の竹居線でございます。こちらの方につきましては、改良約70mにおきまして、約770万円を予定しております。そして、ふた路線目が才田谷線でございます。こちらの方につきましては、すいません、継続事業としましては、北山2号線でございます。こちらの方につきましては、21年度に測量が終わっておりまして、今年度から用地取得の方を予定しております。そしてその進捗状況によっては、工事の一部の方にも着手したいと考えております。その予算につきましては、1,650万円を予定しております。新規路線としまして、才田谷線でございます。この路線につきましては、早い時期にですね、地元の方々と整備方針の協議を行い、それを受けまして測量設計を行いたいというふうに考えております。その予算が150万円でございます。以上でございます。

○議長（高砂副会長） はい、ありがとうございました。

増田委員よろしいですか。他に御質問等ございますか。

○議長（高砂副会長） 無いようでございますので、アの「建設計画に係る事業の平成22年度予算化状況について」の質疑を終わります。

次に、イの「建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応内容等について」の質問・御意見を申し上げます。

○議長（高砂副会長） 村井委員。

○村井高廣委員 建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応内容等についてお願いしたいと思います。

公園緑地課の方に、平成20年度の基本計画作成として、470万ほど決算額となっていますが、具体的な説明をしていただきたいと思います。これパイロット地区整備事業竜王山公園の件でございます。それと、当初この件につきまして、地元関係者と協議しながら進めたいということでしたが、今のところ何も連絡ございませんでしたので、どういう方法でしたのか、それも説明していただきたいと思います。それと追加として、公園用地の購入額の具体的内容、今後の用地購入予定、それと現在の整備計画についての進捗状況をお願いしたいと思います。

○議長（高砂副会長） 公園緑地課。

○川東公園緑地課長 公園緑地課の川東でございます。よろしくお願いたします。

お尋ねの竜王山公園の整備につきまして、まず、1点目の平成20年度に470万円ほどの決算ということで、その具体的な内容でございますけれども、平成20年度の基本計画策定におきましては、計画の前提条件となります自然条件、社会条件等を検討し、公園の利活用、上水道、下水処理、公園へのアクセス等整備計画を策定する際の課題を整備しております。これらの計画課題に基づきまして、瀬戸内海を眺望できる標高239mの竜王山の地理的条件を活かし、誰もが気軽に自然とふれあい、憩いの場となるよう耕作道路を活用した自然散策道や庵治石の作品を展示した彫刻の森等を整備する基本計画案を策定しております。

2点目の地元関係者と協議しながら進めていくということで、これまでの審議会でも回答させていただいておりますけれども、このことにつきましては、未だ地元の方々への説明が、水の供給やトイレ等いろいろ課題がございますことから、説明が遅れておりますことにつきましては、お詫びを申しあげたいと思います。今後、市内部で基本計画案に対する意思決定を行ったのち、この秋には皆様方をはじめ地元の関係者の方々に基本計画案をお示しし、協議を行ってまいりたいと考えております。

3点目の公園用地の購入額の内容でございますけれども、平成19年度に用地は取得してございまして、パイロット事業区域85.05haの内、公園計画区域として、頂上付近の約21.5haを1億5,700万円弱で取得しているものでございます。

4点目の進捗状況でございますが、先ほど申しあげましたように、今後、地元の方々に案をお示しし、計画を策定してまいりたいと考えております。以上でございます。よろしくお願いたします。

○議長（高砂副会長） 村井高廣委員。

○村井高廣委員 わかりました。ありがとうございました。

○議長（高砂副会長） 他に、御質問・御意見等ございますか。

他に、特に、御発言が無いようですので、（１）報告事項のうちア「建設計画に係る事業の平成２２年度予算化状況について」、イ「建設計画に係る平成２２年度から平成２４年度までの実施事業に関する意見に対する対応内容等について」は、これで終わらせていただきますが、このことについて私の方から一言申しあげさせていただきたいと思います。

先ほど委員の方々から先般の自主検討会も踏まえまして、何点が御質問をさせていただきまして、御答弁もいただきました。しかしながら、今回冒頭に配布されております資料を見ますと、対応内容につきまして、すべて前回と同じという内容になっております。前回昨年１１月２６日であったかと思いますが、第２回地域審議会での回答では、各課題につきまして、鋭意検討をしてみたい、また、努めてみたいということでございました。

このことから申しあげますと、前回から半年余り経っておるわけですが、果たして課内で、また、課を横断的に検討いただいておりますのかなというふうに思うわけでございます。

このことからあえて申しあげますと、今回の対応内容については、誠実さの欠けるのではないというふうに、私自身考えております。あえてこのことについて、御答弁はいただきませんが、今後よろしく願いをいたしたいと思います。

○森岡委員 議長。

○議長（高砂副会長） 森岡美佐子委員。

○森岡委員 先ほど村井委員さんが、お尋ねになりました件について、回答が無かったので、再度お願いします。地元関係者とはどういう方をお考えになっているのか。お尋ねしたいのですけども。

○議長（高砂副会長） 公園緑地課。

○川東公園緑地課長 公園緑地課の川東でございます。地元関係者につきましては、未だ詳細には決まっておりますが、今後、この地域審議会の委員さんの方々にも御相談をしながら、協議に参加していただく方につきましては、決めてみたいと思っております。

よろしく願いをいたします。

○議長（高砂副会長） 森岡委員。よろしいですか。

○森岡委員 はい。

○議長（高砂副会長） はい。

○増田委員 議長。

○議長（高砂副会長） 増田委員。

○増田委員 増田です。先ほどの公園緑地課の説明の中で、基本計画案が秋ぐらいには、出したいということなんですけれども、この基本計画案というのを協議するのにやはり地元関係者の方たちの協力っていうのが、必要なんじゃないでしょうか。計画案ができてしまったあとで、これでどうですかって言って、それをまた変更とかはできるのでしょうか。そのあたりをちょっと、御説明いただきたいのですが。

○議長（高砂副会長） 公園緑地課。

○川東公園緑地課 公園緑地課の川東でございます。

お尋ねの件につきましては、市の方でございますね、基本計画案のお示しをいたしまして、その案に対しまして、地元の方々の御意見をいただきまして、その御意見を計画に反映をさせていきたいというふうに考えております。

○議長（高砂副会長） 増田委員よろしいですか。

○増田委員 はい。

（２）協議事項

ア 建設計画に係る平成２２年度および２４年度の実施事業に関する意見の取り

まとめについて

○議長（高砂副会長）

それでは、続いて、（２）協議事項に入ります。アの「建設計画に係る平成２３年度および２４年度の実施事業に関する意見の取りまとめについて」、地域政策課から説明をお願いいたします。地域政策課。

○藤本地域政策課長 地域政策課の藤本でございます。

それでは、協議事項のア建設計画に係る平成２３年度および平成２４年度の実施事業に関する意見のとりまとめについて、御説明をさせていただきます。

お手元のA４サイズの資料３，右上に資料３と記載があります。資料をお願いいたします。

資料の趣旨に記載しておりますように、第２期まちづくり戦略計画における平成２３年度および２４年度の実施事業について、地域審議会の意見の取りまとめをお願いするものでございます。

提出期限につきましては、7月29日の木曜日とさせていただきます。

恐れ入りますが、次のページをご覧ください。こちらの方は、様式でございまして、昨年と特に変わってはおりません。事業等の項目と意見の内容を記入していただくというものにさせていただきます。

なお、番号欄につきましては、1から順に通し番号で御記入いただきたいと思えます。

地域審議会で、御協議いただいたうえ、この様式で提出いただきますようよろしく御協力をお願いいたします。

先ほど申しあげましたように、地域政策課への提出期限は7月29日とさせていただきます。2箇月足らずの期間ですが、取りまとめをいただき、期限内での御提出につきまして、御協力をいただきたいと思えます。

以上、簡単ですが、建設計画に係る意見の取りまとめについての説明を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（高砂副会長） ありがとうございます。

ただいま説明のございました、「建設計画に係る平成23年度および24年度の実施事業に関する意見の取りまとめについて」、御意見・御質問等がございましたらどうぞ。

（質問・意見無し）

特に、御発言が無いようですので、（2）協議事項、アの「建設計画に係る平成23年および24年度の実施事業に関する意見のとりまとめについて」は、これで終わります。

以上で、会議次第3議事（1）報告事項および（2）協議事項は、終了いたします。

会議次第4 その他

○議長（高砂副会長）

続いて、会議次第4の「その他」でございしますが、委員の皆さま方の方で、地域審議会として何か諮りたいということがございましたら、どうぞ御発言をお願いいたします。

○打越委員 議長。

○議長（高砂副会長） 打越委員。

○打越委員 打越です。再度、質問させていただきます。

幼稚園、保育所の一元化について、御質問いたします。

幼稚園、保育所の一元化が平成23年度から、庵治地区において実施されるとの噂がされていますが、本当なのでしょうか。幼稚園と保育所の保護者の噂もありますけど、まあ

心配されていると。実施されるのが本当なら、なぜ庵治地区でなければならないのか。庵治の幼稚園、保育所は、共に適正な人数が入園、入所し、運営上問題等は無く、それぞれ独自に成果を挙げている。それにも関わらず、なぜ庵治で幼稚園、保育所の一元化を進めるのか。市の都合で効率化を図っているだけとしか思えない。旧市内の定員オーバーとなっているような地域で、実施すればよいのではないのでしょうか。これを機に、学校の統廃合等の話に波及しないのか、合併協議の中では、何も話しが無かったと思いますが、なぜ今なのか、お答えできる範囲内でお伺いいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（高砂副会長） 保育課どうぞ。

○田中保育課長 保育課の田中でございます。よろしくお願いいたします。

ただ今、打越委員さんの方からの御質問でございますが、23年度から庵治地区で、幼保一体化を行うのかどうなのかというお話しでございます。幼保一体化につきましては、現在、市の方でもですね、全体的な話しとして検討させていただいているというところがございます。といいますのは、全ての幼稚園と保育所を対象としまして、今後できるのかどうなのかということについて、検討している段階でございます。その中で、今現在はっきりしておりますのは、香南地区におきまして、幼稚園と保育所が隣接しております。隣接しているところで、一体化を進めるということにつきましては、決定しておりまして、市議会と地域審議会、また保護者に対しましてもですね、既に説明をさせていただいているところがございます。その他の地域に置かしましては、現段階では、決定しているわけではございませんし、今現在検討中でございますので、現段階で、庵治の幼稚園と保育所で一体化するしないということにつきましては、御答弁できないというふうな状況でございます。以上でございます。

それとですね、庵治地区でなければならない理由につきましても、今現段階では何とも決まっておきませんので、申しあげることが出来ません。

それと、効率化を図ると、幼保一体化についてですね、それは、幼保一体化につきましては、効率化を図るということを趣旨として行っているものでは全くございませんで、この香南で行っております幼保一体化を始めとしまして、高松市で考えております考え方でございますが、それにつきましては、同じですね3歳、4歳、5歳の子どもたちですね、高松市の子どもたちでございますが、保育所につきましては、保護者が日中仕事をしているという状況で保育所に行くという形になります。一方の幼稚園の場合は、保護者が働いていないと、いわゆる保育に欠けないと一般的にそういうふうに称しておりますが、そう

というような条件に基づいて、それぞれの子どもたちが行く施設が、結果的に決まってしまうというような状況でございます。そういう状況をですね、現在、国の方でもですね見直しを進めておりまして、同じ子どもであればですね、同じ年齢の子どもであれば、同じ発達段階にございますので、同じような教育、保育というものを提供すべきではないかということですね、現段階で、既に21年度からですね、その保育、教育のあり方の基本的な指針ですね、それが幼稚園と保育所それぞれ過去60年間続いてきたものですね、ほぼ一本化されたというような状況でございます。なおまた、その指針をですね、ひとつにするというような方向も現在進められておりまして、なおかつ今現在、幼稚園とか保育所とかというような施設がそれぞれございますけれども、それにつきましてもですね、この4月27日に政府の方から発表があったのでございますが、子ども園、仮称というような形ですね、ひとつずつの物にしていくというような方向性が示されております。そういうようなことはですね、地方の中で必要性があるということ国の方が受け止めて進めている状況でございます、本市に置きましてもですね、あくまでも法律化というのではなくて、子どものために同じ子どもであれば、同じ保育、教育を受けて小学校の方に進学するということが基本的に子どもにとっては、ためになるのではないかとということで進めさせていただいているわけでございます。

最後の統廃合があるのかどうなのかと、これにつきましては、全く統廃合については、リンクしておりません、統廃合とは無関係な形ですね、幼稚園と保育所の一体化について、検討させていただいているというような状況でございます。以上でございます。

○議長（高砂副会長） 今、答弁いただきましたが、打越委員。

○打越委員 はい、打越です。先ほどの説明で、何となく早口で説明していただいたので、飲み込みの悪い私としては、中々大変なのですが、保育所、幼稚園等で、研修会が最近なされると、これは一元化に向けての研修とかいうことではないのでしょうか。

○議長（高砂副会長） 保育課。

○田中保育課長 研修会は、幼稚園、保育所それぞれですね、多く研修を行っております、いろいろな、保育所でありましたら、乳児保育とか障害児保育とか主任さん所長さんの研修とかいう形で行っております。具体的に幼保一体化をするというのがためのですね、研修という名目で、幼稚園の先生と保育所の先生を集まっていたら研修をしたということにはございません。以上でございます。

○議長（高砂副会長） 打越委員。

○打越委員 はい。ありがとうございます。この一元化の件につきましては、今後5年間は、この審議会の中で話ししてます。その中では、こういった一元化に向けての話しが進んでいくというのは、無いのですね。

○議長（高砂副会長） 保育課。

○田中保育課長 ただ今申しあげましたように、現在、幼保一体化につきまして検討しているところでございますので、その方針がですね、ある程度はっきりした段階でですね、また仮に庵治地区でですね、対象となるようなことがございましたら、また御説明にまいりたいというふうには考えています。

○議長（高砂副会長） 打越委員。

○打越委員 まあスクールバスのようにね、決まってしまってからね、こうなりましたと言うのじゃなくて、やはり協議を持つことで一元化の問題が、もし進むようなことであれば、今言われましたように、政府の指針で話しが進めば、その時は審議会の中でこういった問題も審議会委員さんの中で、問題がね、生じないように、十分コンセンサスを得た中で、話し合いを持っていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（高砂副会長） 保育課、どうぞ。

○田中保育課長 御意見十分受け賜っておきます。

○議長（高砂副会長） 他に、その他、村井雅子委員。

○村井雅子委員 村井雅子です。よろしく願いします。

今、打越委員がおっしゃられたように、幼保一体化なのですけども、現段階では、牟礼町の原地区がもう既に幼保一体化で、子どもをみていただいていると思うのですけども、具体的に何歳児、何箇月のお子さんからみていただいているのかを知りたいです。それと、もう一点、幼稚園教諭と保育所の保育士の減少というか、数の変動などは予定されているのでしょうか。お願いします。

○議長（高砂副会長） 保育課。

○田中保育課長 ただ今、牟礼の原、子どもセンターで幼稚園と保育所が一体的な施設として運用しているところでございまして、そこでの子どもたちが何歳児の保育をしているかということでございます。まず1点目ですね。まず保育所の方は、0歳から5歳児まででございます。幼稚園は3歳から5歳までの子どもさんを、受け入れて教育保育を行っているという状況です。

2点目の人数につきましては、一体化をするということで、人数が減ったということなことはございませんで、それぞれの保育所と幼稚園で、先生一人当たり何人を見ることができるとい基準が、決められております。その基準に基づきまして、先生を配置しているというような状況でございます。以上でございます。

○議長（高砂副会長） 村井雅子委員よろしいでしょうか。

○村井雅子委員 わかりました。ありがとうございました。

○議長（高砂副会長） はい。平田委員。

○平田委員 平田です。今のに関連いたしまして、小学校、中学校の統合のようなものは、ずっとないのですか。先ほどもおっしゃってましたけれど、今、中学生が庵治町でありますと118名なのです。小学校が230何名か言っていましたけれど、年々減少しておりますし、やはり統合というのを父兄の方も心配しておりますので、それはもうずっと統合というのは、ありませんか。

○議長（高砂副会長） 学校教育課。

○福田学校教育長 学校教育課福田です。

今、平田委員さんからお聞きがありましたが、現在のところそれは考えておりません。ただ、先に人数がですね、どれだけ減っていくかちょっとわかりませんので、それはその時々だと思いますけど、一応高松市におきましても、そういう旧市内の適正配置といのが必要な時には、やりましたけれども、今はそれは、考えておりません。

○平田委員 どうもありがとうございました。

○議長（高砂副会長） よろしいですか。他に。

委員の皆さま方からは、他に御意見がないようでございますので、事務局の方からは何かございますか。どうぞ。

○村井支所長補佐 事務局ですが、先ほど地域政策課長からお願いいたしました建設計画に係る平成23年度および24年度の実施事業に関する意見の取りまとめにつきましては、今後庵治地区地域審議会として自主検討会の中で、意見集約を図ってまいりたいと考えておりますので、どうかよろしくお願いいたします。以上でございます。

○議長（高砂副会長） 他にはございませんか。

他に無いようですので、「会議次第4 その他」は、これで終了いたします。

以上で、本日の会議の日程はすべて終了いたしました。

当局におかれましては、本日の会議での内容を踏まえ、建設計画等各種事業の執行について、また、7月29日までに提出いたします建設計画に係る平成23年度および24年度の実施事業に関する意見の取りまとめについて、特段の御配慮をよろしくお願いをいたします。

皆様方には、長時間にわたりまして御協議を賜り、また、円滑な会議の進行に御協力いただき、誠にありがとうございました。

異常で会議を終わらせていただきます。

会議次第5 閉会

○事務局（村井支所長補佐）

これもちまして、平成22年度第1回高松市庵治地区地域審議会を閉会いたします。

大変お疲れ様でございました。今後ともよろしくお願いを申し上げます。

午前10時54分 閉会

会議録署名委員

委員

委員